

# 県政活動報告

発行者/皆川いわお  
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2  
TEL 055-222-5313  
FAX 055-233-3301  
E-mail: minagawa@nns.ne.jp  
<http://www.nns.ne.jp/pri/minagawa/>  
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

## ふるさと山梨の「県民生活の向上」

### 6月定例県議会で皆川いわお県議

#### 災害対応力の向上、がん対策、子どもの貧困対策を

六月定例県議会で皆川いわお県議は、自民党誠心会を代表して登壇。はじめに県の財政運営についてただし、リニア環境未来都市の推進、防災基本条例の本年度内の策定、子どもの心のケアにかかわる総合拠点整備や、がん対策、甲府城周辺地域整備の今後の見通し、子どもの貧困対策など、質問は県政全般にわたった。

#### 財政規律の維持と今後の県の財政運営

##### 皆川いわお県議の質問

リニア駅周辺整備や子どものケアにかかわる総合拠点整備など、重要施策を展開する一方で、財政規律の維持が求められる。今後いかに財政運営を行なうのか。

##### 知事答弁

県税収入の増加を図るため、県内経済を活性化。今回の補正予算でも、県内産業の振興を図るため、新規事業を展開する企業に助成を行なうほか、中小企業の経営革新をなう人材採用の支援を強化した。

また、歳出全般にわたり、徹底した見直しを行なう。

#### リニア環境未来都市産業振興を積極的に

##### 皆川いわお県議の質問

リニア駅の近郊エリアにおいては、首都圏からのリニア通勤者の定住促進や、産業技術センターと連携が可能な研究開発機関の誘致など、産業振興を進めたい。リニア環境未来都市の創造は、民間主導による取り組みが必要であり、整備方針においても、地元市町村、民間事業者・団体などと連携を図るとしているが、どのように取り組むのか。

##### 知事答弁

まちづくりは、定住、産業、エネルギー、景観、観光交流の五つの視点で、民間主導により推進する。民間事業者や地元住民、市町村等と連携した方策や体制について、具体的に検討していく。

#### 老朽化が進む公共施設個別施設計画の策定は

##### 皆川いわお県議の質問

更新時期を迎える公共施設への対応で、県が管理する個別施設の計画を、平成三十年度をめどに策定することだが、どのように取り組むのか。

##### 知事答弁

本年度は、廃止や集約化により施設規模の適正化を図るもの、長寿命化を図るものなど、各施設のあり方について方針を決定する。明年度は、個別施設計画を策定する。

#### 支援物資の供給体制や災害対応力の向上を

##### 皆川いわお県議の質問

大規模地震の発生が懸念され、地域の自主防災組織の取り組みが重要だ。防災基本条例の制定を検討することだが、基本的な考え、スケジュールについてどうか。

##### 知事答弁

本年度は、各市町村において地域が主体となり、避難所運営マニュアルの策定や、住民レベルでの防災訓練が行なわれるなど、県民の防災意識が高まってきている。今後は、パブリックコメントを実施するなどして、条例制定を目指す。

#### 子どもの心のケア総合拠点の整備、進行は

##### 皆川いわお県議の質問

県は、昨年十一月、子どもの心のケアにかかわる総合拠点を甲府市住吉の県有地に整備する基本構想を策定した。進捗状況と今後の見込みはどうか。

児童の支援にあたる専門職の確保・育成や、また、県内の子ども心のケアのレベルアップを図りたい。このための仕組みづくりなどの課題に、どのように取り組んでいくのか。

##### 知事答弁

本年度秋までに基本計画を終え、施設の概要を決定、年度内には実施設計を完了し、明年度からは建設に着手し、平成三十一年度中の完成を目指している。

#### がん対策推進計画

##### 皆川いわお県議の質問

がんの医療は進歩し、手術療法においては腹腔鏡などを使った手術が普及し、入院期間も大幅に短縮している。最近では、前立腺がんなどに手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いるなど、進歩している。

##### 知事答弁

県では、第三次がん対策推進計画を策定予定という。どのように進めていくのか。

##### 知事答弁

次期計画においては、現計画の検証や課題を抽出し、総合的かつ計画的ながん対策が実施できるようにしたい。

#### 甲府中心街の活性化と甲府城周辺地域の整備

##### 皆川いわお県議の質問

八月上旬に完成する南口駅前広場により、賑わいが甲府中心街、甲府城周辺地域に広がることを期待する。

甲府中心街の活性化にとって、甲府城南側お堀沿いエリアの一日も早い整備が必要だ。実施計画の検討状況と事業の今後の見通しはどうか。

##### 知事答弁

甲府城南側のお堀沿いエリアについては、基本計画において「甲府城の歴史、文化と緑が感じられ、ゆっくり過こせ、また来たいと思える空間づくり」を整備方針としている。実施計画においては、まず、県と市が、公共施設跡地を先行して整備することにより、民間事業者等の参画を誘導するスキームを示していきたい。

##### 知事答弁

本県においては、大規模な修繕事業、公共土木施設の維持管理業務の増大などの課題がある。道路舗装や路面表示などの痛んだ状況、河川内の支障木の繁茂、土砂の堆積状況は、県民の安全・安心にとって懸念される。公共土木施設の維持修繕・保全事業についての予算確保、拡充が重要だ。

#### 公共土木施設の維持修繕保全事業の拡充を

##### 皆川いわお県議の質問

限られた財源で効率的に対策を進めるため、施設ごとに長寿命計画や維持管理計画を策定、推進する。

##### 知事答弁

道路舗装や路面表示の修繕、河川内の浚渫（しゅんせつ）や支障木の伐採など、日常的な維持管理業務については、緊急度の高いところから計画的に実施する。また、公共事業予算の確保を、国に対して強く要望していく。



六月定例県議会で「防災基本条例」について代表質問する皆川いわお県議

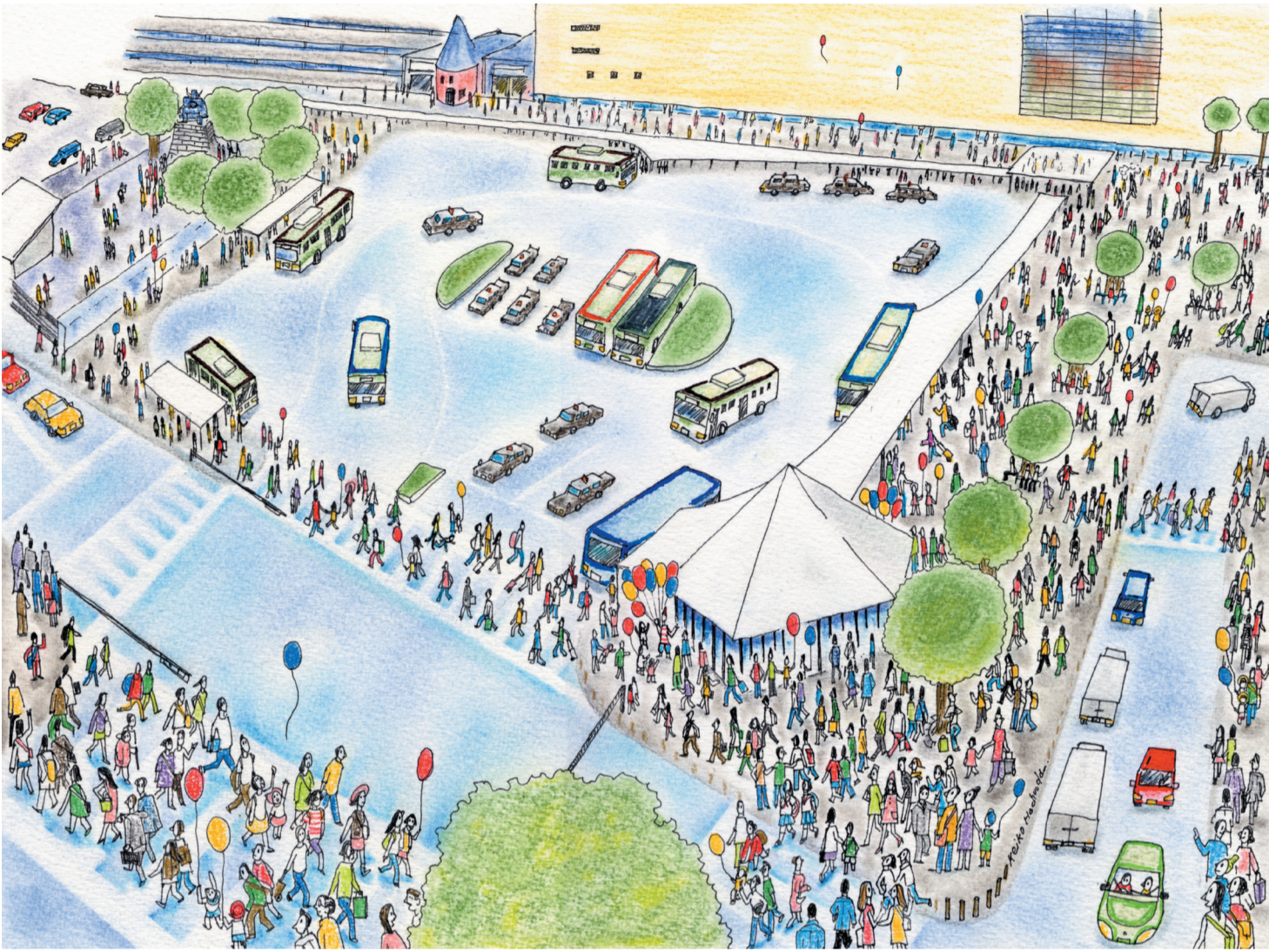


県立中央病院に導入された手術支援ロボット「ダヴィンチ」県内では山梨大附属病院に次いで2例目3D映像で遠隔操作する

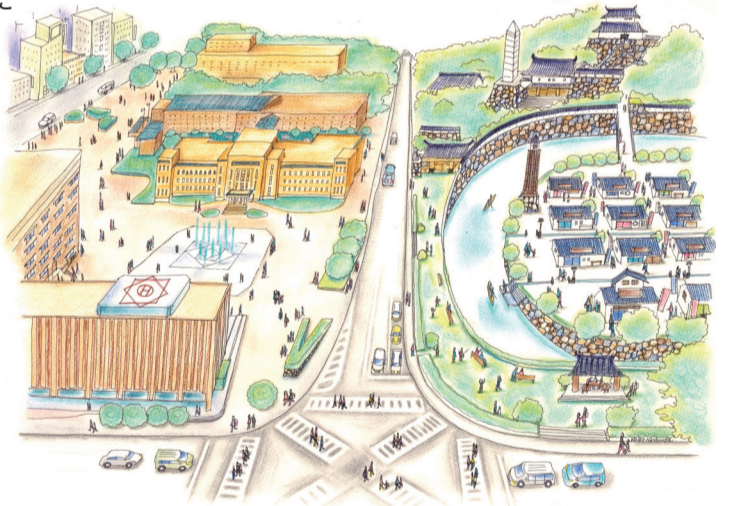
# 賑わいを生み、広げる、まちづくり

## 甲府城お堀沿いのエリアの整備

八月上旬に完成する甲府駅南口駅前広場。県庁の「オープン化」「山梨近代人物館」「山梨シユエリーミュージアム」とあいまって、魅力にあふれる歩行者回遊ネットワークが充実していく。甲府城南側お堀沿いエリアの整備も、取り組みが進められている。



暮らしに潤いをもたらす整備、観光立県・山梨の玄関口にふさわしい魅力づくりが進められている甲府城南側お堀沿いエリアの整備は、甲府中心街、甲府城周辺地域の活性化を図るもので、賑わいを生み、広げる、まちづくりだ



### 工業系高校の人材育成 企業ニーズに応えたい

**皆川いわお県議の質問**  
本県の製造業は、担い手となる技術者が不足し、人材の育成が課題となっている。工業系高校の三年間を、専攻科に結びつけ、特色ある教育の仕組みづくりが重要だ。県では、どのように産業人材の育成に取り組む、専攻科につなげていこうとしているのか。

### 教育長答弁

工業系高校には、プログラミン  
グ教育の充実、機械や電気・電子  
などの横断的な学習の導入が必要  
だ。  
国から指定を受けた甲府工業高  
校のスーパー・プロフェツション  
ル・ハイスクールなどを通じて、  
高度で実践的な教育について研究  
を行なう。さらに、平成三十二年  
の専攻科開設に向け、高校教育と  
専攻科での学びの継続性を重視し  
カリキュラムの開発、接続を円滑  
にする仕組みを検討する。

### 増加する子どもの貧困 実態調査と対策を

### 皆川いわお県議の質問

子どもの貧困対策は、子どもや  
家庭の生活実態を把握し、地域の

関係者が連携を図り、総合的に取  
り組むことが重要だ。子どもの貧  
困に関する実態調査の内容と、貧  
困対策を問いたい。

### 教育長答弁

やまなし子どもの貧困対策推進  
協議会が設立され、全県的、統一  
的な調査が実施される。十月に中  
間報告を、年度内に最終報告をま  
とめたい。子どもや世帯の実情や  
ニーズを踏まえ、貧困対策につな  
げたい。

### スポーツの振興 選手強化と高まる気運

### 皆川いわお県議の質問

競泳の江原騎士選手が世界選手  
権の代表に決定し、卓球の世界選  
手権では平野美宇選手がメダルを  
獲得するなど、本県ゆかりの選手  
の活躍はめざましい。オリンピック  
候補選手の強化とともに、県民  
の気運の醸成について、県はどの  
ように取り組んでいくのか。

### 知事答弁

東京オリンピック候補選手と県  
内ジュニア選手の合同練習会を開  
催している。また、富士北麓公園  
に練習環境が確保されるよう改修  
を進めるとともに、海外の代表チ  
ームの事前合宿や、ラグビー日本  
代表などの練習会場として誘致を  
進めている。



世界選手権代表・競泳の江原騎士選手を激励する  
県水泳連盟の皆川いわお会長

### 屋内五十メートルプール 早期整備を求めたい

### 皆川いわお県議の質問

東京オリンピック・パラリンピ  
ック後を見すえ、次世代をになう

ジュニア選手の育成環境を向上さ  
せたい。競泳に関しては、県内  
には育成・強化に必要な屋内五十メ  
ートルプールがない。早期整備を  
求める四万五千人を超える署名も  
集まっている。県の所見はどうか。

### 教育長答弁

次期国民体育大会の開催に合わ  
せ、小瀬スポーツ公園屋外プール  
の立て替えを行なうこととし、そ  
の際、屋内化を検討することとし  
ている。

### 甲府城周辺地域の再整備 明確なスケジュールを

### 皆川いわお県議の再質問

昨年六月、県と甲府市が「甲府  
城周辺地域活性化基本計画」を策  
定してから、一年が経過している  
のに、いまだに実施計画が策定さ  
れていない。地権者や関係者から  
どうなっているのかと不安の声が  
出ている。遅れている原因は何か  
いつまでに実施計画を作成できる  
のか。明確なスケジュールを示し  
てもらいたい。

### 県土整備部長答弁

現在、民間事業者等の参画を想  
定した飲食・物販施設の導入手法  
について、甲府市と検討を進めて  
いることから時間を要している。  
実施計画については年内をめどに  
取りまとめることとしており、地  
元関係者と早期に具体案を協議で  
きるよう、甲府市とともに取り組  
んでいく。

### 皆川いわお県議の再質問

公共土木施設の維持修繕保全事  
業の拡充についてだが、県土木業  
界においては、安定的・継続的な  
受注が得られず、倒産や廃業を余  
儀なくされる企業が生じかねない  
という。非常に危機的状況にあり  
その意味でも、早期対応への決意  
を問いたい。

### 県土整備部長答弁

公共土木施設の維持修繕に関し  
ては、社会資本を次世代に受け渡  
していくためにも、適切な維持管  
理が重要だ。必要な予算の確保に  
ついては、国に訴えていく。